

ヨミネスしばた

Yominesu Shibata News

議会だより

物価高に対応した12月補正予算を
審議しました。



第158号

発行／新発田市議会
編集／広報広聴委員会



赤穂義士四十七士の一人で、当市出身の堀部安兵衛の生誕地をPRしようと、赤穂義士の法被を着用して本会議に臨みました。当日は、テレビ局や新聞社から取材を受けました。

50%プレミアム付き 「新発田市地域応援商品券」を発行します。

●緊急経済対策事業

物価高騰対応重点支援地方創生臨時国庫交付金を活用して消費者・事業者を一体的に支援し、経済効果の拡大を図ります。

<経済建設常任委員会での質疑>

Q 前回の35,000冊から今回は75,000冊に増やしているがどのような見込みで増やしたのか。

A これまで平均すると1世帯1冊程度であった。今回プレミアム率50%を加味して増刷しており、十分に足りると考えている。生活支援であるとともに事業者支援でもあるので完売させたい。



Q 広報しばたが月1回発行の中で周知方法、販売方法、使用できる店舗は。

A 広報しばた1月6日号で告知し引換券を折込む。販売は1月30日から開始し、販売場所は市内のセブンイレブンを予定している。利用できる店舗は、広報しばた2月2日号に折り込みで周知するが、これまでは700店舗程度であった。

低所得世帯へ 灯油購入費助成金を給付します。

●灯油購入費助成金支給事業

<社会文教常任委員会>

物価高騰に直面し、特に影響を受ける生活保護世帯及び児童扶養手当支給対象世帯に対し、灯油購入費助成金として一世帯2万円を給付することで、生活の負担軽減の支援を行います。

子育て世帯を支援します。

●物価高対応子育て応援手当支給事業

<社会文教常任委員会>

長期化する物価高の影響を強く受けている0歳から18歳までの子どもがいる世帯に対して子ども一人当たり一律2万円を支給します。



クマ対策の強化を図ります。

●有害鳥獣対策事業

人の生活圏に出没するクマを集中的に捕獲するため、アーバンベア捕獲緊急支援事業県補助金を活用してクマ対策用備品を購入します。

<経済建設常任委員会での質疑>

Q 県の補助金をどう活用するのか。

A 鳥獣害実施隊の報酬、クマスプレー、花火、安全ヘルメット、防護盾、防刃ベスト、双眼鏡、捕獲おりの購入、クマ捕獲協力金などに活用する。

Q 捕獲協力金の内容は。

A 捕獲協力金は1頭当たり2万円。県の補助は今年度で終わるが、その後は国の対策パッケージの活用について検討する。



緊急銃猟訓練の様子

主なものをご報告します

定例会

新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組に関する請願書を採択しました。

< 請願の概要 >

新潟水俣病は本年5月末日をもって公式確認から60年を迎えた。しかし、今なお未救済の被害者が、水俣病であることを求めて裁判を起こしたり、公害健康被害補償法に則って認定申請するなど、新潟水俣病は終わっていない。その最大要因は、最高裁が現行の行政認定基準では認められなかった被害者を水俣病と認めたにもかかわらず、救済制度を見直さないことや水俣病特措法に基づく被害者発生地域の住民健康調査が確実に行われていないことなどによる。

ついては、新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けて、次の事項について早急に取り組むことを求める意見書を政府及び国会に提出することを請願する。

- 1 国は、未救済被害者の救済に向けて新たな救済制度を確立すること。
- 2 平成22年4月の特措法に関する閣議決定及び平成23年3月のノーモア・ミナマタ新潟訴訟の和解条項を踏まえて、阿賀野川流域住民の健康被害調査を早急に実施するよう、被害者団体と協議すること。

免税軽油制度の継続を求める請願書を採択しました。

< 請願の概要 >

これまで冬季観光産業の重要な柱であるスキー場産業の発展に貢献してきた軽油引取税の課税免除の特例措置が、令和9年3月末日で廃止される状況にある。スキー場産業では、索道事業者が使うゲレンデ整備車及び降雪機に使う軽油が免税となっており、この制度がなくなれば索道事業者は大きな負担増を強いられ、スキー場の経営維持が困難となるとともに、地域経済にも計り知れない影響を与えることとなる。

以上の趣旨から、次の事項について意見書を政府関係機関へ提出することを請願する。

- ・免税軽油制度を継続すること。



主な議案等に対する賛否の一覧 詳細およびここに記載以外の議案は市議会ホームページをご覧ください。

12月定例会

12月定例会	議第54号	新発田市行政組織条例及び新発田市職員定数条例の一部を改正する条例制定について	全員賛成
	議第62号	令和7年度新発田市一般会計補正予算(第7号)議定について	全員賛成
	議第67号	令和7年度新発田市一般会計補正予算(第8号)議定について	全員賛成
	議第73号	令和7年度新発田市一般会計補正予算(第9号)議定について	全員賛成
	議第74号	令和7年度新発田市一般会計補正予算(第6号)議定について	全員賛成
	議会第10号	新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組を求める意見書	全員賛成
	議会第11号	免税軽油制度の継続を求める意見書	全員賛成

一般質問

今後の生活 どう変わる？どうなるの？

一般質問とは？

私たちの暮らしに関係する身近で大切な問題について、議員が市長や教育長に直接聞いたり、提案をします。

一般質問の内容の一部概要をご紹介します。

一般質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



Q1 差別を伴う人権問題に対する取組 Q2 いじめ対策と不登校児童生徒への取組

▶ 長 島 徹 議員



- Q 情プラ法でインターネットを悪用した差別情報の削除要請件数について。
- A 令和7年11月末現在で23件。全てが部落差別に関するもの。
- Q 当市の本人通知制度登録者数について。
- A 本年10月末現在で登録者数1,654名。
- Q 当市の同性婚に対する考えを伺う。
- A 社会において議論が十分に尽くされてない。今後、国の議論の動向を注視し慎重に考える。

- Q 当市で第三者委員会が設置された、いじめ重大事態の有無について。
- A 残念ながらある。
- Q いじめ加害児童生徒への対応は。
- A 出席停止・別室登校を検討し提案している。



Q1 熊から市民の生命を守る Q2 災害時の地下水利活用について

▶ 若 月 学 議員



- Q 警戒対策強化について。
- A 市7課38名の体制で学校、自治会、商業施設に対し対応。
- Q 森林環境譲与税を熊対策に利用できないか。
- A 緩衝帯整備であることから検討。
- Q ガバメントハンターの育成について。
- A 令和8年度会計年度職員1名計画。狩猟免許は正職等で5名保持、今後育成を検討。

- Q 市地域防災計画における地下水・湧水の位置づけは。
- A 内竹配水場周辺に井戸4か所設置。個人設置井戸は未調査。
- Q 災害時協力井戸制度の整備は。
- A 個人情報、防犯上の対応に課題がある。





Q1 エンタメを活用した地域活性化について
Q2 インバウンド客の増加の取組について

● 高橋 茂 議員



- Q 「ももクロ春の一大事」のようなイベントを継続的に開催できるように、積極的に誘致する取組は行わないのか？
- A 地域経済に大きな波及効果を生み出すこととなった。次なるイベント誘致に向けて挑戦していきたい。
- Q 映画「十一人の賊軍」を、再上映する計画はないのか？
- A 令和8年2月11日に実施できるよう準備を

進めている。

- Q インバウンド客の受入環境の具体的な施策は？
- A 月岡温泉を拠点に、新潟駅と新発田駅を結ぶ直行バスの実証運行をスタートさせた。



Q1 新発田市総合戦略の人口ビジョンに基づいた施策の方向性について

● 五十嵐 良一 議員



- Q 人口減少対策の現状分析と将来予測及び行政改革の課題認識は。
- A 人口減少に鑑みた中長期財政計画を基軸とし、将来推計人口に即した持続可能なまちづくりを行う。
- Q 移住・定住促進策の効果検証と強化を。
- A 「奨学金返還支援事業」の拡大を検討する。

- Q 子育て・教育環境の定住促進は。
- A 経済的、精神的負担の軽減支援や放課後児童クラブ利用者増を見込んだ児童支援員確保と施設を整備し安心安全な居場所を作る。



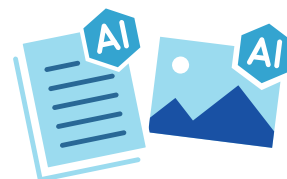
Q1 行政における生成AIの活用について

● 板垣 功 議員



- Q 生成AIは行政分野においても、業務効率化や住民サービスの質の向上に資するツールとして期待されており、本市においても、この技術革新の波に乗り遅れることなく活用し、持続可能で効率的な行政運営を実現していくべきと考えるが具体的な取組については。
- A 令和5年度に実施した一部の職員による試験運用で参加した多くの職員から、業務の

中で有効な補助的ツールになり得るとの高い評価があった。利用頻度の多寡はあるものの、ほぼ全ての部署で職員個々の工夫によって日々の業務に取り入れられている状況である。





Q1 北共同調理場の救急搬送事案について
Q2 衛生面で問題のある什器類の更新について

三母高志議員



- Q** 6月23日発生した救急搬送事案は暑さ指数33.9度の危険な状況で発生している。労働安全衛生規則等も変わり責任認識はあるか。
- A** 教育委員会として働く方の安心安全を検討しなくてはいけないのは事実だ、当然やっている。今回の12月議会での補正予算で空調設備の設置を提案している。
- Q** 古い什器のATP検査でRLU500で合格が、なんと5,000の数値だ。つり革やドアノブレ

ベルの汚れで安全上問題だと思う。

- A** 子どもたちの食の安全にかかわる問題なので、優先順位をつけて、再度研究、検討し対応していきたい。



Q1 堆肥活用と環境負荷低減農業の推進について

渡邊喜夫議員



- Q** 減農薬・減化学肥料栽培米の作付け割合の推移は。
- A** 価格等のメリットがなく令和4年17%が令和7年16%に減少。
- Q** 加治川有機資源センターにペレット堆肥製造機械を導入、推進策は。
- A** 令和8年度から本格稼働、農家の散布テストで準備。特殊堆肥は有機JASに適合した資材へ。
- Q** 有機農業、環境負荷低減農業地域では除草

剤に頼らない「みどりの畦畔づくり運動」を重視。当市の状況は。

- A** 県では農道畦畔は草刈等の啓発があった。除草機械のスマート化の普及へ。
- Q** 学校給食に減農薬・減化学肥料米の使用は。
- A** 慣行栽培米と比べ2割～3割高く課題。



ペレット堆肥製造機械



Q1 学校給食無償化は全額国費で
Q2 不登校の急増と対策について

高橋芳子議員



- Q** 財源として、交付金等の直接措置への働きかけは。
- A** 市長自ら、市長会を通じて国に働きかけてきた。
- Q** 地産地消食材の活用継続を。
- A** 地場産食材継続に努力する。
- Q** 中学校の給食も先行して無償化に取り組めないか。
- A** 市単独の先行は考えていない。

- Q** 不登校生の状況改善は。
- A** 教育支援センターでは登校日数の増、学習成果上昇。
- Q** 新潟県のいじめ、暴力行為率が高い。対策は。
- A** 「心の叫び」に向き合い、声かけ、情報交換会、チーム対応で問題行動の減少に努めていきたい。





Q1 各種窓口で「字幕表示システム」の導入を
Q2 豪雨、地震などで被災した農家への支援を

● 中村 こう 議員



- Q** 話した言葉が字幕や動画等で表示できる透明パネルを観光案内を含め各種窓口を設置し、高齢者や障がい者、外国人等へ対応しては。
- A** 窓口対応でこれまで不十分なことはなかった。対応は考えていないが、技術の進展状況をみながら研究していきたい。
- Q** 災害による農地被害には、災害指定される以外は支援策がない。見舞金制度の創設な

ど当市が独自で行う支援策を考えてはどうか。

- A** 農地は個人の財産であることから個人としての一定の負担はやむを得ない。農業災害支援制度が十分活用できる。見舞金制度等は考えられない。



Q1 物価高騰対策としてただちに緊急対策を
Q2 休日・夜間救急診療所の診療縮小の再検討を

● 加藤 和雄 議員



- Q** 困っている市民の支援と、早急に生活困窮者などに食料や水道料金、福祉灯油などの支援はできないか。
- A** 灯油助成や子育て応援手当の支給を今定例会に追加提案した。
- Q** 苦しむ小規模事業者に直接支援はできないか。
- A** 直接支援は効果が限定的。経営基盤強化を目的とした側面支援が重要。
- Q** どんな診療体制になるのか。

- A** 平日夜間は12月から翌年2月の期間のみ診療、外科は廃止。
- Q** 365日救急外来があることで市民が安心できる。診療体制縮小を再検討できないか。
- A** 高齢の医師の負担と地域医療の維持から判断。診療縮小を受けざるを得ない。



新発田地区救急診療所



Q1 オーガニックビレッジ宣言後の展開が今一つ
Q2 前例踏襲で気づかない役所の無駄を洗い出せ

● 小柳はじめ 議員



- Q** 目的は教育面とブランド確立があるが、給食や対インバウンド提供も実施すべきだ。
- A** 中山間地を中心に米輸出による農家の所得向上を第一に考えており、まずは生産確保が必須だ。
- Q** 五泉市・阿賀野市に働きかけR290沿いをエリアプロモーションしてはどうか。
- A** 両市は国内需要や給食活用を目指しており、方向性は違うが協議会設置など面的に取り組む。

- Q** 住民税や入湯税の手続きのムダがあまりに昭和でショックを受けた。
- A** 無駄は多く改善したいが国のルールなど制約も多い。
- Q** 全庁的にゼロベースでムダを見直すべきだ。
- A** DXも含め各部署に調査を実施した。



毎度送られる納税書類



Q1 「産後ケア」の現状と展望



宮本 佳太 議員

- Q 直近2年度の利用率は。
- A 前々年度約7%→前年度約22%強へ増加。
- Q 他市にない強みは。
- A かかりつけ保健師による全員へのフォロー体制。
- Q 2か月待ちの事業者もある等、利用ニーズに応えられていない現状をどう改善するか。
- A 子ども家庭センターの利用拡充を検討するが、イクネス等市中心部の施設では現状難しい。

- Q 助産師等人材確保に向けた方策はあるか。
- A 現状はない。
- Q 既存事業者から支援要請の声もあるが、市内事業者増加も見据え事業者への直接支援は考えられないか。
- A 市で直接支援することは考えていないが、国や県へ働きかけていく。



Q1 農業担い手不足に夫婦で地域おこし協力隊を Q2 有機農業学校を開校しては



惣山 かすみ 議員

- Q 人口増加を見込める夫婦での地域おこし協力隊を、任期終了後の農地斡旋を含めて募集してはどうか。
- A 現在、地域おこし協力隊3名が農業に従事し、任期終了後には就農できるよう農地斡旋も視野に入れてサポートしている。検討する。
- Q 種、農薬、肥料含む自給率は9%。国際情勢が不安定な中、持続可能な有機農法は大

切。小規模の有機農業学校を開校、または連携して若い農業者を呼び込んで。

- A 卒業生受け入れ等の連携はできるが、通年で稼げる土壌でなく、農業を断念するケースが想定される。学校の開校は難しい。



Q1 県民意識調査で再稼働にノーが下ったのでは Q2 緊急銃猟は市民の命・くらしを守れるか



宮村 幸男 議員

- Q 知事は7年前の選挙で「脱原発社会をめざします」と意見広告を出した。県民意識調査の結果は「再稼働ノー」を下したのではないかと。市長の評価はどうか。
- A 知事の再稼働容認の判断は、県民意識調査結果も含め、三つの検証や公聴会等を慎重かつ丁寧に進めてきた。県政運営の実績等を尊重して受けとめたい。
- Q 緊急銃猟における猟友会員等と責任分担は

できているか。

- A 市街地等の熊出没に、市町村長の許可で銃猟捕獲が可能になった制度。市内で一件実施。
- Q 山沿いに緩衝帯づくりが必要でないか。
- A 人も物も被害から市が守る。



赤穂義士の法被姿で本会議に臨みました



赤穂義士四十七士の一人、堀部安兵衛は当市出身であり、生誕地を広く市内外に発信しようと、赤穂義士が討ち入りを果たした12月14日を前にして、市議会定例会初日の12月5日に、赤穂義士の法被を着用して本会議に臨みました。

12回目となる今年も、しばたオイスターバー実行委員会の皆さんよりふるまわれた赤穂の牡蠣を試食しました。当日は、テレビ局や新聞社から取材を受けました。

今後も、市議会として、新発田市を積極的にPRし、盛り上げていきたいと考えています。



議会を傍聴してみませんか



みなさんも
傍聴にお越し
ください！

市議会では市民の皆さんに身近な問題を審議しています。

市民の皆さんが市議会における審議状況を知ることができるように、本会議や委員会を原則として公開しています。

新発田市民はもちろん、だれでも本会議や委員会の状況を直接ご覧いただけます。

研修・視察の報告



議会運営委員会 議会改革の取組について



11月11日 京都府亀岡市

いずれの自治体も、議会運営の原則や議員の責務などを明文化した議会基本条例を制定し取組を進めている。また、議場でのモニター活用、多言語翻訳表示システムの導入など、議会運営の効率化や住民への情報発信強化のためにICTを活用するとともに、意見交換会の開催など、住民の意見を議会運営や政策形成に反映させるための仕組みづくりに注力していた。当市議会も、この3市町の取組を参考にしたい。



11月12日 大阪府和泉市



11月13日 京都府精華町

総務常任委員会



生成AI・自治体DXについて

10月9日 神奈川県横須賀市

横須賀市では、職員が生成AIやメディアを活用し積極的に情報発信を行い、外部から注目されることで内部の意識が醸成され、全庁的に生成AIの活用が広がり市民サービス向上に繋がっている。先進技術を取り入れるには、触れてみて理解を深めていくことが重要だと感じた。

豊島区では災害時、避難行動に配慮や支援を必要とする方々への対応について視察を行った。「災害時要援護者名簿」の作成方法など当市の避難行動要支援者対策に大いに参考となった。



要配慮者対策、個別避難計画について

10月10日 東京都豊島区

千葉県富里市議会行政視察に対応しました

11月17日、富里市議会の議会運営委員会が当市議会の議員定数の削減について行政視察のため来訪されました。



経済建設常任委員会

佐渡市では、世界文化遺産に登録された金山を活かした観光振興と、行政と民間が連携し進めるオーガニック米生産の取組について視察した。

貴重な学びの機会となり、その学びを当市の観光やオーガニックの取組の議論に役立てたい。



佐渡金山を拠点とした観光振興について

きらりうむ佐渡 10月22日 新潟県佐渡市



佐渡市認証米について

10月23日 新潟県佐渡市



北沢浮遊選鉱場跡

10月22日 新潟県佐渡市

広報広聴委員会

開成町では、写真や図表を多用し、一般質問の要点を簡潔にまとめた議会広報紙の編集方法や、議員自らが編集に関わる体制づくりについて視察を行った。また、町民に手に取ってもらう工夫として、レイアウトや見出し表現にも配慮されていた。

相模原市では、公式SNSを活用した議会日程や審議内容の発信、動画配信による分かりやすい情報提供など、若い世代にも届く広報の取組が印象的であった。当市議会においても、より開かれた議会を目指した広報広聴活動の充実に取り組みたい。



議会広報の取組について

10月9日 神奈川県開成町



議会だよりの編集について

10月10日 神奈川県相模原市

議会報告会とWeb議会報告会を開催しました

報告会では、令和6年度一般会計決算関係を中心に9月定例会で審議された内容を説明しました。

いただいたご意見等は、今後の議会活動に反映させていきたいと考えています。

会場での主な質疑応答

- Q** 防災、特に治水に課題があると思うが、対策は。
- A** 直近の対策としては豊町の調整池がある。今後も河川改修等で国や県を巻き込んだ対策を進言していく。
- Q** 東新町のアンダーパスが浸水する降水量の目安は。
- A** 1時間あたり40mm程度といわれている。令和7年8月・9月の豪雨では、30分で67mmの雨が降り、1時間程度浸水が続いた。
- Q** ひきこもりへの取組として、支援員1名では人員不足では。
- A** 支援員増員を要望した。
- Q** 蔵春閣を核とした観光振興で、駐車場不足が課題。もっとインバウンドを呼び込んでどうか。
- A** まちなか活性化事業や各種イベントを企画していると思うように結果は出ていない。



Web議会報告会

「ライブ配信することで若い方にも議会に興味をもっていただき、リアルタイムの意見交換がしたい」という思いで開催しています。ご自宅等で気軽に視聴できるWeb議会報告会の配信を今後も続けていきたいと考えています。

今回のWeb議会報告会については、右の二次元コードを読み取ることで視聴することができます。



開催した日と会場等

11月	午前	新発田地区公民館赤谷分館
15日(土)	午後	市役所本庁舎4階議場
11月	午前	蔵春閣2階大広間
22日(土)	午後	イクネスしばた1階 AIKOKIKI 未来ルーム
11月	午前	バスツアー
29日(土)	午後	市役所本庁舎4階第1・2・3委員会室
11月	午前	イクネスしばた1階 AIKOKIKI 未来ルーム
30日(日)	午後	豊浦地区公民館視聴覚室
12月	夜間	Web 議会報告会
2日(火)		



参加者からの主な意見等

- 猟友会がいない地区は鳥獣害が深刻だ。
- 「あかたに号」運行により、これまでコミュニティバスがなかった滝谷・滝谷新田地区の皆さんは大変喜んでいて。
- 若者が働ける場所を確保するため企業誘致が重要。
- 増加する離農者や空き家への問題にもしっかり取り組んでほしい。
- 議会での決算審査の内容をもっと周知する必要がある。
- 女性議員の割合が少ないと感じる。



市内施設バスツアー第2弾!!

多くの市民の皆さんからご応募いただき、
引き続き議会報告会にも参加いただきました。

マイクロバスに市議会議員が添乗し、市内公共施設を見学しました。



\\ 加治川有機資源センター //



\\ 新発田市加治川展示室 //



\\ 道の駅 加治川 //

バスツアー参加者からの主な意見等

- 2回目の参加。見たことがない施設や新発田の歴史を知ることができ、とても良かった。
- 新発田のことをもっと宣伝してほしい。
- まちなかを良くしてほしい。
- いろいろな場所を見学できて勉強になった。



\\ 市役所本庁舎4階第1・2・3委員会室 //



議会からのお知らせ

2月定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
2/15	16	17 告示日 議会運営委員会	18	19	20 議会運営委員会	21
22	23 天皇誕生日	24	25 本会議 (提案理由説明) 予算審査特別委員会 (財務課長説明)	26	27 本会議 (一般質問)	28
3/1	2 本会議 (一般質問)	3	4 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	5 常任委員会 (総務)	6 常任委員会 (社会文教)	7
8	9 常任委員会 (経済建設)	10 予算審査特別委員会 (第3セクター) 議会運営委員会	11	12 本会議 (補正予算等採決・ 会派代表質問)	13 本会議 (会派代表質問)	14
15	16 予算審査特別委員会 (総務関係)	17 予算審査特別委員会 (社会文教関係)	18 予算審査特別委員会 (経済建設関係)	19 予算審査特別委員会 (市長総括質疑)	20 春分の日	21
22	23 議会運営委員会	24	25 本会議 (一般会計新年度 予算議案等採決)	26	27	28

※請願・陳情の提出期限は2月18日です。 ※変更等の場合は、ホームページ・エフエムしばた等でお知らせします。
※一般質問2日目及び3日目は、一般質問の通告議員が多い場合に行います。

本会議を生中継しています

市議会ホームページで生中継します。
下の二次元コードまたは「新発田市議会」で検索し、「本日の議会中継」からご覧ください。



市議会ホームページはこちらから

新発田市議会



<https://www.shibata-shigikai.jp/>



ラジオは録音放送しています

①FM放送

エフエムしばた(76.9MHz)による放送は、本会議一般質問及び代表質問のみを録音放送します。(放送日程はエフエムしばたのホームページなどでご確認ください)



②インターネットサイマルラジオ

右の二次元コードまたは、エフエムしばたのホームページバナーから聴くことができます。
(放送日程は①FM放送と同じ)



編集後記

年が明け、ようやく降ってきた今年の雪。昨年は、もう降らないかなと思っていたところに最後の大雪が降り、除雪費の補正予算があったことが思い出されます。
さて、昨年の市議会では次期改選からの議員定数削減を決定し、議会報告会でのバスツアーやワークショップの開催など新しい取組がありました。その

たびに広報広聴委員会では、ページ構成や細かい文言修正をし、どうしたら市民の方に読んでもらえるかと話し合いをしています。8月19日に発行した議員のイラストの表紙は話題となりました。
本年も手に取っていただける市議会だより「ヨメネスしばた」になるよう取り組んでまいります。
(文責 惣山 かすみ)

【広報広聴委員会】委員長／板倉久徳 副委員長／宮野清隆 委員／惣山かすみ・高橋芳子・長島徹・中村こう

令和8年2月2日発行 ©発行・編集／新発田市議会 広報広聴委員会 〒957-8686 新発田市中央町3丁目3-3 新発田市議会事務局
©TEL 0254-28-9400 URL: <https://www.shibata-shigikai.jp/>

廃液を出さない環境対応印刷です

